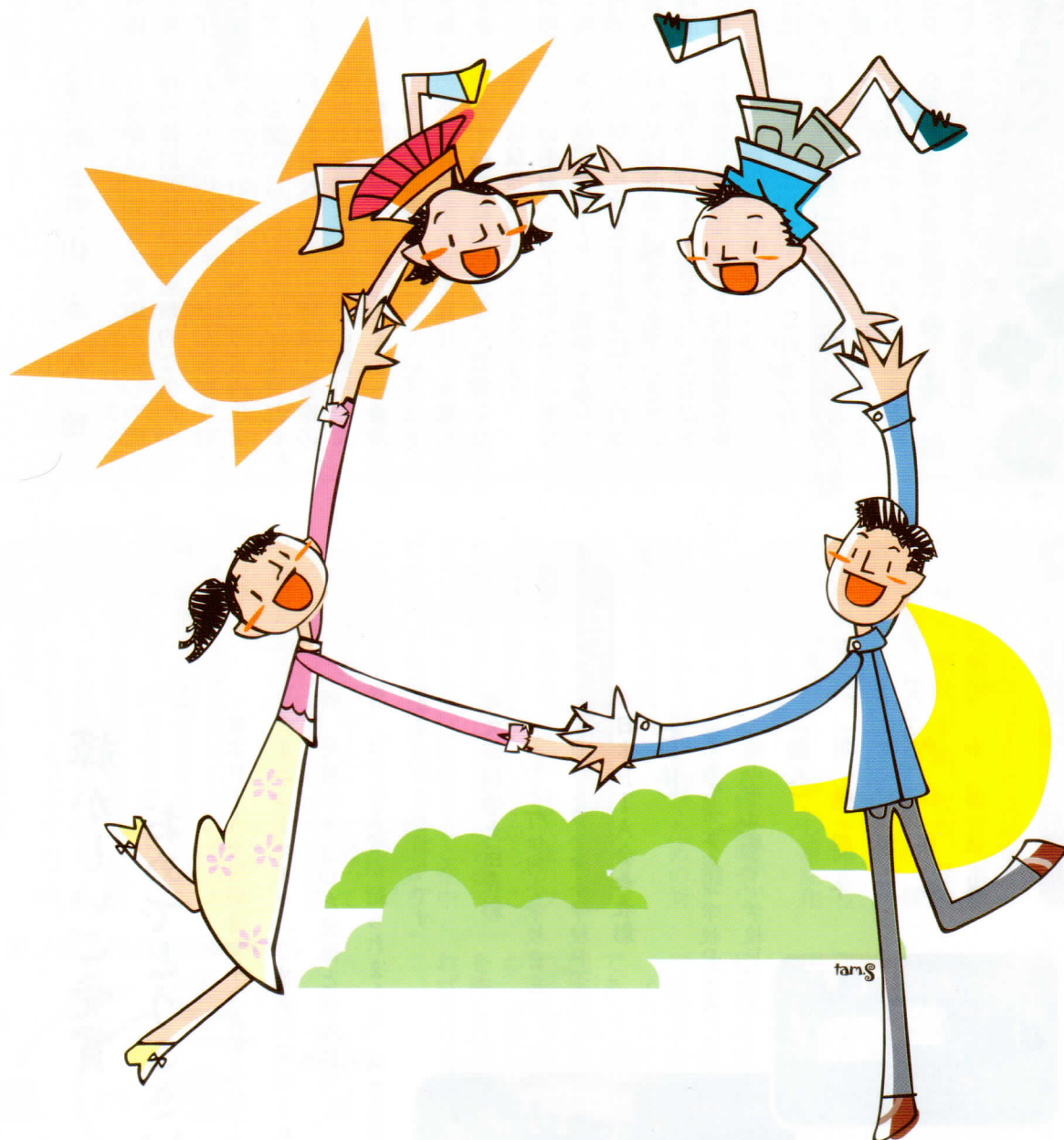




福井県PTA

◆発行者：福井県PTA連合会 会長 山本久徳 広報委員会
 ◆発行所：〒918-8135 福井市下六条町14-1 (福井県生活学習館2階) TEL 0776-41-4253 FAX 0776-41-4333
 ◆ホームページ：http://www.fukui-pta.jp (社)日本PTA全国協議会 http://www.nippon-pta.or.jp/
 ◆E-mail：mail@www.fukui-pta.jp



CONTENTS

◆会長あいさつ	2	◆東海北陸ブロックPTA研究会に参加して	7
◆輝かしいご受賞おめでとうございます	2	◆PTA活動についてのアンケート報告	8
◆感染性胃腸炎 ノロウイルス感染症	3	◆西川知事と県PTA連合会役員との懇談会	9
◆研究大会	4	◆福井県PTA連合会広報紙コンクール募集要項	10
◆いじめ問題について考える	5	◆県P 掲示板	10
◆一筆啓上・我が家の三原則	6	◆編集後記	10

家庭の役割



福井県PTA連合会 会長 山本 久徳

より感謝申し上げます。

先日、『心のきずな61キャンペーン』のチラシによる募金活動が各学校において終了しました。大変お世話になりましたこと、この欄をお借りして深くお礼申し上げます。二月三日にはエルパにおいて街頭募金活動も致しました。一般県民の皆様の温かいお気持ちに直に伝わってきて、うれしくなったことを思い出します。東日本大震災から時間は経過し、記憶は次第に風化されていることは確かです。しかし、被災地はまだまだ復興にはほど遠い環境です。時折、被災地の子どもたちが笑顔で活動している映像を見るに付け、人間の生きる力の強さを感じています。全国にいるPTA会員約一千万人が心を一つにして、少しでもお手伝いしていこうというのがこのキャンペーンの趣旨です。皆様のお心を集約し届けたいと考えています。

今年は、教育の現場にいい問題や体罰問題等の衝撃的な事件がおこり全国的にも大きな波紋を投げかけています。国の教育再生実行会議では、いじめの早期発見に向けた学校・家庭・地域・警察の更なる連携など五項目の提言をまとめたようですが、子どもの一番身近かにいる保護者としては子どもの声に普段から耳を傾け、家庭が果たす役割についてよく自覚しなければならぬように思います。

スローガン「子どもたちの幸せみんなでサポート」笑顔とありがとうが、こたますように」の意味を私は改めて噛みしめていきたいと思っています。腹をわつた会話をとおして笑顔につつまれた家庭を築いていきたいものです。

最後になりますが、これからもPTA活動にご理解・ご協力をいただき、ともに悩みともに活動する会員がますます増えることをお願い申し上げます。



輝かしいご受賞

おめでとうございます

日本PTA全国協議会年次表彰式が十一月二十二日、ホテルニューオータニで盛大に開催され、PTAの振興、発展に寄与した団体と個人に対し、文部科学大臣賞、日P会長賞が贈られました。福井県PTA関係の受賞者は次のとおりです。

● 文部科学大臣表彰

永平寺町松岡小学校教育友会
あわら市金津小学校PTA

● 日本PTA会長表彰

(団体)
あわら市芦原中学校PTA
勝山市立鹿谷小学校PTA

(個人)

別段 朋子
松村 治門
中谷 良幸
加藤 直美



感染性胃腸炎 ノロウイルス感染症

福井県PTA連合会 安全会審査委員

(田中病院々長) 田中 廣昌



昨年十一月頃から今年にかけて、全国的に病院や施設、学校でノロウイルスの集団発生がマスコミを賑わし、中には犠牲者の発生も報じられました。

そもそもノロウイルスが国際的に認められたのは02年であり、我が国では06年に爆発的大流行があり、それまでは知名度の低かったノロウイルスが、この大流行を機に瞬く間にメジャーとなり、広く認知されることになりました。

本紙では、07年にいち早く取り上げており今回は二回目ということになりますが、比較的新しい感染症なのです。

ノロウイルス感染症とは

ノロウイルスは赤ちゃんから高齢者まで幅広い年齢層に発症し嘔吐、下痢を主症状とする感染症胃腸炎や食中毒のことです。

この感染症は一年を通じて発生していますが、特に十一月から三月の

冬季に主に流行します。

子供の感染は冬場が大半

ノロウイルスが最も猛威を奮うのは冬場です。毎年冬場になると子供達の学校単位での集団発生がニュースになります。

福井でも昨年の暮れから今年にかけて、小学校での感染が多くみられ、感染した子供達が家族へ、家族が職場へ感染を拡げるといったケースが見られました。

実際は年間を通してどの季節でも発生しやすいウイルスですが、細菌類が夏場に多く発生するのに対し、ウイルス性感染症の多くは乾燥の強い冬場に多く発生します。

また、冬場に多発する原因には、日本では冬場に多く出回る生牡蠣が感染源の一つになっています。ノロウイルス感染症の感染源となる食品の代表は二枚貝です。

二枚貝とは二枚の貝殻を持つ貝グループのことで私たちが好んで食べるアカガイ、ホタテガイ、ハマグリ、シジミ、牡蠣、トリガイなどです。

感染するとどんな症状に

ノロウイルスは手指や食品を介して、口から感染し、人の腸管で増殖し、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱（微熱程度）などを起しますが、健康な人は二三日で回復します。子供や高齢者では、吐物で喉を詰まらせたり、誤嚥性肺炎を起こし重症化することもあります。

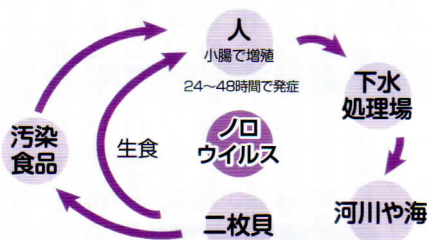
このウイルスに対する特効薬やワクチンはなく、安静と嘔吐や下痢による脱水や体力消耗を防ぐための対症療法があるだけです。

ノロウイルスの予防法

患者さんの便、吐物には大量のウイルスが排出されていますから、これらの処理には十分な注意が必要です。ノロウイルスは乾燥すると空中に漂い、これが口に入って感染することがあります。かつてノロウイルスに汚染されたカーペットに残っていたウイルスが乾燥して空中に飛散し感染が起ったという事例がありました。

このウイルスには石鹼、逆性石鹼、エタノール類での失活化効果は期待できず、次亜塩素酸ナトリウム、いわゆる塩素系消毒液（市販のハイター）が有効ですが、原液では手が荒れますので、水でうすめて噴霧します。

ノロウイルスの伝播サイクル



ノロウイルスの特徴

- * 下痢だけでなく、嘔吐が多い
- * 消毒薬に対する抵抗力が強い
- * 免疫の持続時間が短く、何度も感染することがある

ウイルスに対する失活化の効果は期待出来なくとも、常識的な石鹼による手洗いや食品の加熱（食品の中心温度85℃、1分以上）は必要です。ウイルスが体内に侵入してから発症するまでの潜伏期間は一〜二日程度です。症状が快復後体内のウイルスは感染力も弱くなり、通常は発症後一週間程度で感染力は無くなるといわれていますが、中には二〜三週間程度生き延びるウイルスもあり、二次感染の原因となる可能性があるのに注意が必要です。

ノロウイルスは、身近なウイルスであり、感染力が強く、爆発的な集団感染を起こしやすいので、死に関わるような怖いものではありませんが、本当に手強い相手ですから感染を防ぐための処置を適切に行わなければなりません。

研究大会——いじめと命——を終えて

生涯学習委員会 委員長 佐々木 敦子



十二月八日に第五十四回福井県PTA連合会研究大会を開催致しました。当日は五〇〇名ものPTA会員の皆さまのご参加をいただき、心から感謝申し上げます。

初めに、家庭での生活習慣のきまりと家族間のメッセージを募集しました「一筆啓上・我が家の三原則」の入賞作品の発表、表彰を行いました。今年度は六五〇九通の応募をいただき、どの作品も家庭の温もりが感じられる素晴らしい作品ばかりでした。多数のご応募をいただきありがとうございました。

研究大会では「いじめと命」をテーマにシンガーソングライターの小本真琴さん、一途の皆さんをお迎えして歌とトークでの講演会を開催致しました。川本真琴さんと一途さんの歌に込められたいじめ撲滅へのメッセージは心に響き、会場の涙を誘いました。



では、いじめ問題について取り組み、発表を致しました。各PTA会長の皆さまにいじめに関するアンケート調査を実施させていただき、各PTAでの取り組み例や対応策なども紹介させていただきました。

いじめの現状を知り情報を共有、発信し、更なる取り組みへとつながっていきたくと考え、事例の発表も致しました。



楽しいはずの学校で、現実には残酷ないじめが行われていました。自らの命と引き替えに私たちに訴えたかった子どもたちの声、そこには私たちの想像を絶する苦しみがありました。

子どもたちがどれほど追いつめられているのかを私たちは知らないといけない。いじめで人が死ぬということ、言葉や態度だけでも人を殺してしまうということを知らないといけない。子どもの心と命を守ってほしい、子どもたちの叫びが問いかけています。愛する子どもたちがいじめにあう、いじめで命を絶つ、親にとつてこれほど悲しいことがあるでしょうか。今、この瞬間にも苦しんでいる、死の淵に追いつめられている子どもたちが大勢います。

昨年は文部科学省の調査によると年間二〇〇名の児童が自殺により命を絶っています。実際によ

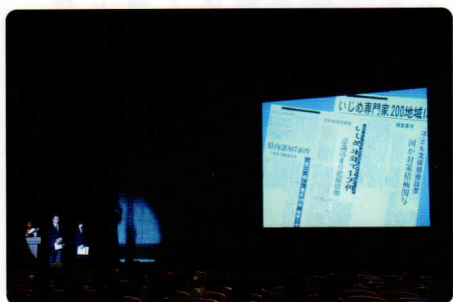
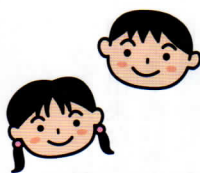
亡くなった児童の保護者からいじめによる自殺と申し出があったのは、毎年年間六〇〇名から八〇〇名と警察庁により発表されています。

この子たちがどんなに辛い思いで命を絶ったかと思うと胸が締めつけられます。ふつうの家庭のふつうの子がいじめにあい、いじめを行い、いじめを見ている。いじめは絶対にあつてはいけません。見て見ぬふりの社会から、相手を気遣う、声をかけあう社会に変わらなといけません。

子どもたちの大切な命を守り、支えていくのは親の務めです。まずは家庭において、親が子に温かい心の教育をしましょう。自分の命、お友だちの命、かけがいのない命の尊さを教えましょう。毎日、少しの時間でも親子で向き合える時間をつくり、子どもの少しの変化も見逃さず、子どもの居心地の良い居場所づくりに努めていきましょう。学校、担任の先生を敬い信頼関係を築き、子どもたちの健全な心の成長をともにはぐくんできましょう。

子どもにとつて家族の支え、ぬくもり、先生からの励まし、地域の皆様からの応援は、とても大きな励みになります。たくさん愛情とお力で子どもたちを温かく育てていきましょう。

そして、いじめのない優しさにあふれる学校で、『笑顔とありがとうがこだまするように』心から願います。



いじめ問題について考える

いじめに関するアンケート結果

269校中208校回答対象県内の小中学校のPTA会長

子どもたちのためにできる事

我が子がいじめにあっていたら

我が子の身の安全を第一に考える。時間をかけ親子でむきあい保護する。絶対にこれ以上傷つけさせないという決意で、相手と問題解決に当たる。子どもの心の回復に努力する。

子どもからじっくり話を聞く

質問攻めにせず、子どもの気持ちにあわせる。子どもが何を求めているのか、どうしてほしいのかに沿って行動する。

話の内容を整理する

いじめの内容を記録する。周りの人たちから情報を集める。

子どもの安全を確保する

学校で心や体が傷つけられる場合、子どもの安全を第一に考える。SOSを求められるよう不審者用警報装置を持たせる。命を削ってまで学校に行く必要がないことを子どもに話す。

周囲に協力を求める

学校の先生、保護者と連携する。学校で常に一緒に行動できる生徒の協力を求める。学校外に助けを求める。警察、教育委員会など。

早期発見、早期解決

問題は、小さいうちに徹底して解決する。小さないじめをみて見ぬふりをすれば、いじめはエスカレートする。数人から始まったいじめがグループ、クラス、学年、学校中に広がる。口だけのいじめが恐喝、暴力に発展する。

サインを見抜く

ケガ、腹痛、頭痛、吐き気、食欲不振、顔色が悪い、感情の起伏が激しくなる。涙する、表情が暗い、チック症、円形脱毛症、服が汚れて帰ってくる。肌の露出をさせる。持ち物が壊される。落書きされる。家族のお金がなくなる。大切にしていたゲームソフトがなくなる。

継続して観察

拒食症や不登校、引きこもり、自傷行為、自殺に要注意。再発防止の為、半年から1年間は要注意で見守る。世間体や学歴よりも我が子の心と命が一番大切であると、子どもと一緒に再確認する。

我が子がいじめをしていたら

わが子がした事は過小評価しやすい。現実から目をそらす冷静に事態を見極める。心の奥にあるものを見極める。本人が大きな心の問題をかかえている事が多い。家庭でのストレス、先輩からの暴力、恐喝、孤独、多くの関係者と情報を共有し多角的にみて知恵を出しあい協力を求める。

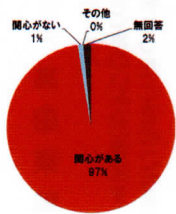
先生に...

目の前で起きている事、小さな変化に気づいてほしい。一人一人の生徒に関心をもってほしい。生徒の言葉に耳を傾けてほしい。内面を見抜く目を養ってほしい。いじめはいけない事だと、はっきりとした態度と言葉で示してほしい。

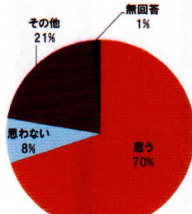
いじめ、自殺、遺書一歩は重宝された



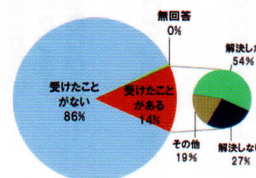
1 「いじめ」について関心がありますか？



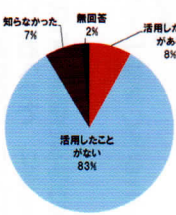
2 PTAとして、何らかの取り組み(いじめ撲滅等)をすべきだと思いますか？



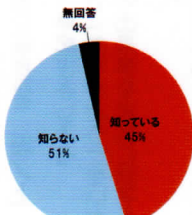
3 会員の方から、いじめについての相談を受けたことがありますか？「ある」場合、そのいじめについての相談は解決しましたか？



4 専門の講師によるいじめ防止講話や教材(ビデオなど)を活用したことがありますか？



5 「いじめ撲滅のための共同宣言」を行ったことはご存知ですか？



平成24年8月20日、「『いじめ等問題行動をなくす』県全体会議」にて、PTA、校長会、育成会、関係諸団体とともに、いじめ撲滅のための共同宣言を行った。

いじめ相談窓口

- チャイルドライン...
0120-99-7777
(月～土/16:00～21:00)
- 24時間いじめ相談ダイヤル...
0570-0-78310
(月～日/24時間)
- 子どもの人権110番...
0120-007-110
(月～金/8:30～17:15)

いじめについての教材紹介

【ビデオ】

- いじめられてる君へ
- いじめ—その実態と克服の道を探る
- いじめへの挑戦—学校・家庭・地域のスクラム
- 生徒の心をつかみたい...等

問い合わせ先

福井県生活学習館
(ユニーアイふくい)
映像ライブラリー
Tel:0776-41-4203

【ビデオ】

- いじめから逃げない
- いじめ・親として
- いじめゼロをめざして
- いじめを克服する
- いじめへの挑戦...等

問い合わせ先

福井県人権センター
Tel:0776-29-2111

【ビデオ】

- 許さないいじめ
- ある日突然に
- いじめ中学生激論ドラマ
- いじめは誰の責任
- いじめ早期発見チェックポイント...等

問い合わせ先

福井市映像文化センター
Tel:0776-20-5030

今後福井県PTA連合会では、いじめ根絶の為になおいっそうの努力をして参ります。ご支援ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一筆啓上・我が家の三原則

たくさんのご応募ありがとうございました。
多くの素晴らしい作品の中から、会長賞・優秀賞を受賞された作品をご紹介します。

会長賞

越前市岡本小学校五年 玉村 古都

- 一 ご飯のときは感謝
- 二 食事のときはテレビを消して
- 三 気持ちの良いあいさつをしよう

古都へ

十人家族の食卓は、いろんな言葉が飛びかっ
てウルサーイ!!
…けどやっぱりこの時
間がなくちゃ、淋しい
よね。

お母さんへ

そうそう、うるさいよ
ね。でも、みんなで話
ができるのはこのとき
だけ!
この時間が、私には大
事だよ。



会長賞

越前市武生第一中学校三年 大友 春奈

- 一 「ありがとう」の気持ちを
忘れずに!
- 二 なんでも話そう!
- 三 チャレンジ精神を忘れずに!

お母さんへ

どんな時でも、話を聞いて
くれてありがとう。
夢に向かってのチャレ
ンジは、まだまだ続く
よ。応援してね。

春奈へ

どんどん話して! 何で
も聞くよ。一番のサポ
ーターになりたいな。
いつも、見てるよ!
チャレンジ最高!!



優秀賞

坂井市木部小学校二年 高田 菜那

- 一 毎日玄関の靴ならべ
- 二 ご飯をたべるときいただきます
ご飯を食べ終わったときのごちそう
ごちま
- 三 家族でいっしょにお話をゆる
かなへ

菜那へ

目を大きく開けて、一生懸命話して
いる顔が、いきいきしてたよ。
お父さん、お母さんへ
もっともっとういっばいお話をすること
があるよ。いっしょ聞いてね。

福井市東藤島小学校二年 伊藤 美結

- 一 早寝、早起きをする!
- 二 元氣よくあいさつをしよう!
- 三 テレビを消して、楽しくご飯を食
べよう!

美結へ

近所の人に「毎朝元気に挨拶してえ
らいね」と声をかけてもらいました。
ママは、あなたを誇りに思っよ!!
パパ、ママへ

朝挨拶する時は、スッキリ気持ちい
いよ。元氣をもらえる気がするよ。
これから、たくさん挨拶したいな。

坂井市平草小学校三年 玉森 愛萌

- 一 ぜったいうそをつかない!
- 二 大きな声であいさつを!
- 三 小さなことでもありがとう!

お母さんへ

いつも言えないけど心の中でありが
とつ。
めばえへ
何も言わなくてもわかるんだよ。
だって、笑顔が語ってる!
うそも分かっちゃうよ、かくしても!!

大野市有終南小学校四年 齋藤 優之介

- 一 たくさんおはなし リフレッシュ
- 二 片付いたおへやで リラックス
- 三 「ありがとう」感謝の気持ち忘れない

優之介へ

「お帰り!」抱きしめると学校の
おいがする。
今日もたくさん頑張ってきたんだね。
えらいね。

お母さんへ

「だいまー。」がんばってきたよ。
楽しかったよ。
お母さんがぎゅってしてくれと
うれしいよ。

坂井市戸戸小学校四年 坂ノ上 ゆい

- 一 早ね、早起きをする!
- 二 え顔で「ありがとう」をいおう
- 三 一日の出来事を家族に話そう

お母さんへ

一人部屋を作ってくれたのに使わな
くてごめんさ。い。
だって、おかあさんのとなりで、ね
たいんだもん。

ゆいちゃんへ
夏の夜に、くっついて寝るのは暑
いけど、
夜中に、あなたに布団をかけてあげ
られることが、ママの幸せだよ。

鯖江市神明小学校五年 山本 海月

- 一 ありがとうをたくさん言おう!!
- 二 地域の人にあいさつしよう!!
- 三 食事の時は楽しくおいしく食べよ
う!!

我が子へ

怒る時には人一倍怒る。
ほめるときは人一倍褒める。
私はいつでも、あなたたちの盾にな
る。

お母さんへ

怒る時は怖いけど、
やさしいときは、とっても優しい。
そんなお母さんが大好きだよ。

坂井市丸岡中学校二年 竹内 陽菜

- 一 早寝・早起き
- 二 一緒にご飯を食べる
- 三 気持ちの良い挨拶をする

陽菜へ

帰ってくると工場に顔を出し、
「帰りました!!」と言ってくれる。
それが毎日の楽しみ。

お母さんへ

私が帰ると満面の笑みで
「お帰り!!」と迎えてくれる。
私も元気になるよ。

福井市社中学校二年 長谷川 咲耶

- 一 あいさつは自分から
- 二 感謝の気持ちをわすれずに
考えて行動

おかしさんへ

「絶対明日しゃべらんし!」って思っ
ても、
次の日には忘れて

「おはよー。」っていつちゃうんだ
よね。

さやへ

「いいすぎ
た。ごめん
ね。」って
思った時は
寝ちゃって
て。

でも、朝
「おはよ
う。」の一
言で仲直り
だね。



東海北陸ブロックPTA研究大会に参加して

福井県PTA連合会 副会長 杉 田 信 悦

今年度の東海北陸ブロックPTA研究大会は、10月12日～13日の2日間、富山県の東部に位置する、朝日町・入善町・黒部市・魚津市の4市町で6箇所の分科会と全体会にて、4市町の頭文字を愛称にANKU（アंक）と証し、サブテーマに「見直そう親子のふれあい・いいがに話さんまいけANKUで」と掲げ、盛大に開催されました。

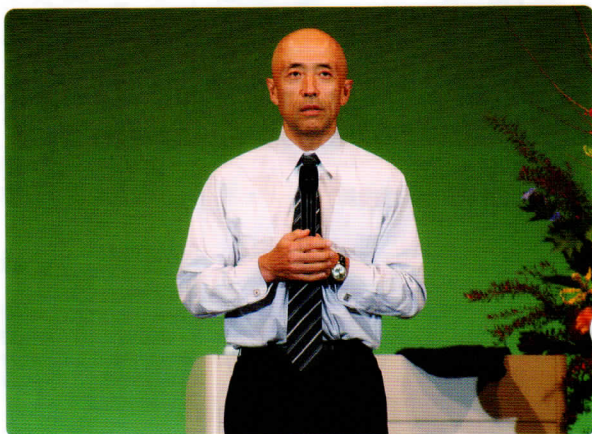
一日目の分科会では、本県より大野市上庄小学校PTAが、魚津市の第2分科会（家庭教育B）にて、「花いっぱい、笑顔いっぱい、あいさついっぱい」を主題に研究発表を行いました。また、その後のパネルディスカッションにも、廣田直樹上庄小PTA会長もパネリストとして参加し、活動の苦労や成果を皆さんに熱く答弁して頂きました。



また、同じく研究発表を行いました小矢部市PTA連絡協議会の「子どもたちのインターネット利用を考える」においても、近年の家庭教育の中で最も問題視されている課題で、参加者の皆さんも共感できる内容でした。どちらの発表にも共通する課題が、子どもたちを取り巻く環境と親子でのふれあいで、PTAとしての取り組み方や、子どもたちとの向き合い方など、参加者と共に考えそして気づききっかけとなったのではないかと感じました。

誰もが願う子どもたちの姿勢は、いつも笑顔で、誰にでもあいさつができる素直な子どもたちだと思います。そのためにも、私たちPTAが手本となる行動や活動を展開しなければならないと改めて感じさせられ、素晴らしい分科会に参加することが出来たなと思いました。

二日目の全体会では、記念講演に弁護士の菊池幸夫氏を迎え、「出会いの人生から学んだこと」と題



して、自身のPTA活動やボランティア活動から学んだことや、家族とのコミュニケーションから気づいたことを、いろいろなエピソードを取り上げ、楽しくそして参加者の共感を得ながら講演されていました。菊池氏は、地元小学生の女子バレーボールチームとPTAチームの監督を務めるなど、ボランティア精神の溢れる地域の方として活躍されていますが、現役のPTA会員としてまだまだ皆さんと同じく、子どもたちと一緒に学び、子どもたちのために活動したいと熱弁されていました。話の中にも、私たちと同じように子どもや家族とのコミュニケーションで悩んだりすること、父親としての子育て論・人生論など、身近な疑問や希望なども語ってくださり、とても親近感が持てすばらしい講演でした。

最後に、私自身この2日間を通じてPTA活動の大切さという事を素直に感じる事ができ、まだまだ頑張らなければならないなと感じました。そして、遠方にも関わらず今大会に参加下さいました県内PTAの方々にも感謝致します。



PTA活動についてのアンケート報告

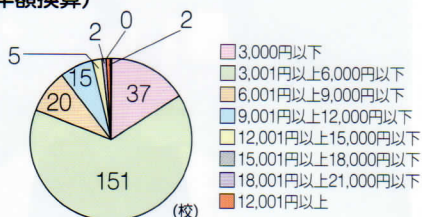
環境委員会 委員長 高 畑 徹

環境委員会では本年度『PTA活動についてのアンケート』を実施しました。
アンケートには232校の小中学校から回答をいただきました。

ブロック	所属校数	回答校数
福井・永平寺	82校	67校
坂井市	36校	30校
奥越	26校	22校
丹南	60校	57校
嶺南	65校	56校
合 計	269校	232校

Q1 PTA正会員からの会費の額（1会員あたり）を御回答ください。

A1 全体の回答（年額換算）

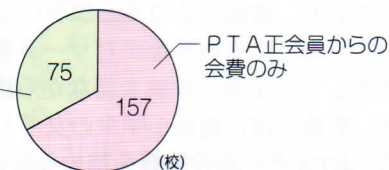


全体の約2/3の学校が年額換算して3,001円～6,000円でした。

Q2 PTA活動に対する収入は

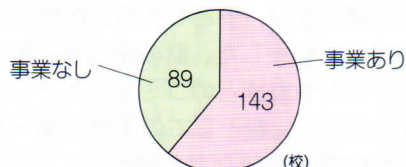
A1

PTA正会員からの
会費+他からの会費
徴収あり



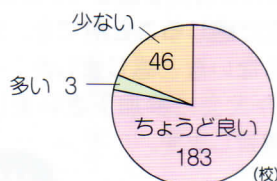
Q3 Q2以外でPTA事業により活動費に加えている事業はありますか

A3



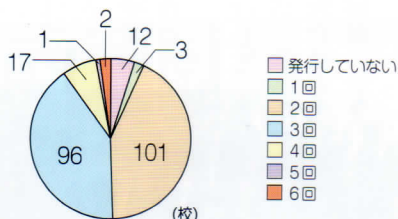
Q4 現在の年間のPTA予算はその活動をしていくにあたり

A4



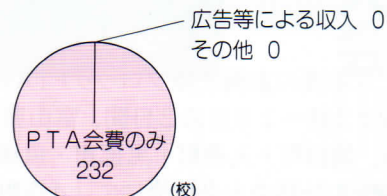
Q5 PTA広報紙は年何回発行していますか

A5



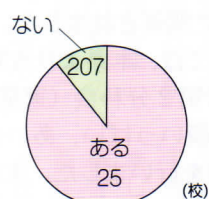
Q6 PTA広報紙発行にあたりその費用は

A6



Q7 PTAのホームページはありますか

A7



Q8 貴校PTAの特別な活動、また現在あるいは今後の課題等ございましたら御回答ください。

A 主な回答のみ抜粋

- ・少人数のためPTA事業には全家庭の協力のもと取り組み成果をあげているが、活動には余裕がない（人的な量）が課題である。（かけもちで活動してもらうことが多い）（奥越）
- ・本校は年々生徒数が減少しており、活発な活動がなかなかできない状況です。それに加え市P連、県P連、各ブロック会議、講演会参加等を加えて参加となると人数が足りない状況です。様々な行事を精査していく必要があると思います。（福井・永平寺）
- ・児童数が減っていく中で、何回も役員をつづけなくてはならないという負担感がある地区もあり、活動が消極的になりがちである。（嶺南）
- ・見守り活動 有線放送（地区内全戸）を使用し、学年毎に下校時刻を知らせ、地域の方に見守り活動をお願いしている。月1回有線放送で不審者情報等を放送し地区全体との情報共有を図っている。（福井・永平寺）
- ・PTA活動予算は会費のみで賄っており、年々生徒数も減少していることから運営に支障が出てきている。会費値上げを検討中だがこれ以上の負担はできたら避けたいと考えている。（丹南）
- ・年々児童数が減少するため、会費の徴収（方法）や予算の組み方に苦労している。PTAの活動についても今後見直しや精選が必要だと思う。（福井・永平寺）
- ・活動が大きくなれば、その費用も大きくなっていくことが多い。会費を増額することは昨今の社会状況を考えれば理解を得難い。会費主体の財源から、自主財源の割合増へとシフトしていくのが今後の姿であり、それに対応できる活動も必要と考えています。（丹南）

アンケートを通して、児童生徒数の多少にかかわらず、いずれも会員の減少傾向の学校が多くありPTA活動にも、会費面、役員の選出、行事の参加に影響がでてきています。

恒例の行事に追われ新規事業に取り組めないところもあるようです。

今回のアンケートが今後の活動の一助になれば幸いです。

御多忙中の折、アンケートに御回答いただいた各校の皆様には心より感謝申し上げます。

西川知事と県PTA連合会役員との懇談会

総務委員会
委員長 栗原泰道

平成二十五年一月十六日に県庁七階特別会議室にて行われた、西川知事、林教育長、教育委員会関係各課長と、県PTA連合会役員との懇談会についてご報告いたします。

今年度は「より対話形式に近い懇談にしたい」との知事からのご意見もあり、教育に関する積極的な意見交換や質問・感想が述べられる懇談会となりました。

(1) 福井県の教育について

① 福井県十八年教育方針と今後の方向性について

② 福井県十八年教育の中の家
庭教育の向上について保護
者に希望することとは？

(西川知事)

小・中学生についての学力については全国トップレベルといわれている中でその前後に注目している。つまり小学入学前の六年間(幼児教育)に対し、早い段階から心や基本的な生活習慣を育てておく必要がある。また高校に関しては小中学校ほどの評価が高校に對しては見られていないので、高校のレベルUPの必要を感じている。そのためには授業内容や先生の充実が必要と感じている。

また、保護者が学校にさら



に関心をもち、授業参観などに積極的に参加し学校に対してより教育の充実を希望するなどして、もっと学校を気にする事が、全体の教育レベルのUPや学校問題の解決につながっていくと考えている。

(山本会長)

授業参観などは幼稚園、小学校低学年の頃は参加者も多く関心を親も持っているのがわかるが、高学年、中学校となるにつれて、子供からの意見もあり参観する人が少なくなってきたと思う。私たち保護者としても高学年について関心が薄れ、学校から子供からも離れていけないように注意しないといけない

思う。

(2) 小中学校での防災教育について

① 災害時の避難行動のあり方や、災害発生時の児童・生徒の引渡しなどの問題などの防災教育の新たな視点について

② 原子力発電所立地県としての、原子力や放射能に関する教育について

(西川知事)

災害発生時については、先生に対する教育をしっかりとさせていく必要があると思っています。また、放射能について科学的な視点も含めて、教育していくことも必要かと思われる。放射能災害発生時には校長・教頭が責任をもった行動や判断を行い、先生が体を張ってしっかりと知識をもつて対応・教育できるようにしていく必要がある。

(林教育長)

まず、5km圏を最優先に自衛隊や海上保安庁などの協力を得ながら早々に避難が可能となるような対策を検討している。

(山本会長)

やはり原子力や放射能に関する知識は私たちも身につける必要があると思っています。

て。必要があると思っています。

(西川知事)

もちろんPTA主催なので、防災や訓練に関する研修会などの開催もお願いしたい。

(林教育長)

現在、放射能などの教育と、避難などに関する管理面との手引きを作成中であり、完成後は各学校に配布してするなどの検討をしている。

(3) すべての子どもたちへの支援について

① 普通学級にいる発達障害の子どもたちへの支援や取り組みについて

② 生徒指導上問題のある児童・生徒や触法少年たちへの更生支援などについて

(西川知事)

県下の各市長との意見交換会の場合でも特別支援についての意見が多く、特別支援の先生を増やしてほしいとの要望を聞いた。県としても発達障害児の教育推進チームなどを設け検討している中で、非常勤講師を配置したり、就労支援を行ったり、特別支援教育センターなどによる対策などの検討も行っている。

(林教育長)

法に触れるような問題を起こす生徒などについては、他の



生徒への影響も考えながら、個別に指導対応するなどを行い、少しずつコミュニケーションをとりながら学校の中で更生出来るよう指導している。またカウンセラーの派遣など含め対応しているが、これに関してはPTAの皆さんや地域の皆さんの力も借りて子どもたちを育てていきたい。

(4) その他

① 福井国体に向けて
(西川知事)

開催地にふさわしい成績を残せるようにしていきたいと思っています。

良い指導者やメンタルトレーニングなどによる指導なども意識しています。今後五年間が非常に重要だと思っています。

第37回 福井県PTA連合会広報紙コンクール

応募の締め切りが迫っています! 応募締め切り:平成25年3月15日(金)必着

このコンクールは会員相互、家庭・学校・地域を結ぶ唯一の絆ともいえるPTA広報紙が、より多くの会員に読まれ愛されて充実し、会員相互のコミュニケーションが一層深まり、PTA活動が更に活発化することを目的としています。

- ◎最優秀賞 …… 1点
- ◎特別賞
- ◎優秀賞 … 10点
- ◎努力賞 … 20点



※詳細は既送の文書をご確認下さい

過去の受賞PTA (過去10年間)

回(発行年度)	最優秀賞	特別賞
27回(H14)	坂井郡金津中学校PTA	
28回(H15)	清水町清水南小学校PTA	
29回(H16)	上志比村上志比小学校PTA	清水町清水南小学校PTA
30回(H17)	あわら市金津中学校PTA	上志比村上志比小学校PTA
31回(H18)	福井市日之出小学校PTA	
32回(H19)	勝山市成器西小学校PTA	
33回(H20)	坂井市平章小学校PTA	
34回(H21)	福井市安居小・中学校PTA	
35回(H22)	越前市武生東小学校PTA	福井市安居小・中学校PTA
36回(H23)	福井市安居小・中学校PTA	

福井県PTA連合会掲示板

●平成25年度行事予定

開催月日 曜日 行事等

3月	2月	26年1月	11月	10月26日	9月下旬	9月上旬24日	夏休み中8月23日	7月6日	30日	29日	23日	15日	6月1日	25日	5月12日	4月上旬4月13日
広報紙等の発行、配布	PTA活動関係者の表彰推薦期間 (書き損じハガキ等の回収)	県PTAゆめ基金・小規模校支援募集月間 県PTAゆめ基金協力月間	知事と語る会 県PTAゆめ基金・小規模校支援募集月間	日P表彰式 請願活動(県議会・国会)	福井県PTA連合会 研究大会 (生活学習館 多目的ホール他)	環境委員会アンケート実施 県P広報紙発行、配布	我が家の三原則・一筆啓上募集 全国PTA研究大会並びに東海北陸ブロックPTA研究大会 みえ大会 1日目 分科会 2日目 全体会	嶺南ブロックPTA活動地区別研修会 (美浜町なびあす)	丹南ブロックPTA活動地区別研修会 (越前市文化センター)	福井・永平寺ブロックPTA活動 (勝山健康福祉センター)	奥越ブロックPTA活動地区別研修会 (高松公民館)	坂井ブロックPTA活動地区別研修会 (坂井市市民センター)	第1回理事会(新メンバーによる)	第2回理事会 (24年度理事による午前10時)	平成25年度広報紙づくり講習会 県生活学習館映像ホール(午前)	各都市P連役員等の報告、切 新旧ブロック長引継ぎ会 郡市PTA会長・事務局局長会議 地区別PTA研修会打合せ(午後)

お詫びと訂正

前号(一〇五号)に掲載致しました、日中友好「少年少女の翼」に参加した宇都宮桃佳さんは三方中ではなく、美浜中学校三年の誤りでした。
お詫びして訂正させていただきます。

編集後記

今号は、福井県PTA連合研究大会の特集のようになりました。参加された皆様から大変感動した、素晴らしい感想が多く寄せられ、是非皆様にご紹介させて頂きたいと思えました。

私も今年一年たくさんの講演会に参加致しましたが、どれも素晴らしい本場に貴重な機会を与えて頂いたと思います。

お陰様で広報紙一〇六号の発行となりました。作成にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



広報委員会 委員長

伊藤 史朗